

## ピンク電話(特殊簡易公衆電話)

- ▶ 厳密に言い出すと公衆電話じゃないだろ、というツッコミをしてはいけません。
- ▶ ピンク電話はタグで区別はあまりしていません。なので参考程度にどうぞ。

### 特殊簡易公衆電話(初代ピンク電話) 47号AD型

- ▶ 昭和34年(1959)登場



通信総合博物館収蔵品(通信総合博物館撮影・掲載許可済)

### 大型ダイヤル式ピンク電話(675SAシリーズ)

- ▶ 昭和47年(1972)登場
- ▶ 10円玉しか使えません。このタイプを赤く塗ると赤電話です。



## ボタン式ピンク電話(675P)

- ▶ 1985年登場
- ▶ ピンクの他に黒、ベージュ色がラインナップされました。
- ▶ 10円と100円硬貨が使用できる。



## 鹿鳴館

- ▶ ボタン式ピンク電話(675P)をベースに作られた。
- ▶ 10円と100円硬貨が使用できる。



## Pてれほん 初代(画像はPT-1PSN)

- ▶ ピンクの他に黒がラインナップされました



## カード式Pてれほん(MC-6シリーズ)

- ▶ 平成元年(1989)登場
- ▶ ピンク電話で唯一テレカが使えた。硬貨の使用はできない
- ▶ 利用ノルマ(一説には月20000円)があったらしくほとんど撤去。ごく一部生き残っているらしい。現役はレア中のレア



## PてれほんW(PT-2)

- ▶ Pてれほんシリーズ唯一の壁掛式
- ▶ 登場当時の販売価格は100,000円
- ▶ 標準型と騒音対応型がありました



## P てれほんII(PT-12)

- ▶ 登場当時の販売価格は95,000円
- ▶ ピンクの他に黒・グレーがラインナップされました
- ▶ 標準型と騒音対応型がありました



## PてれほんIII(PT-13)

- ▶ ピンクの他にグレーがラインナップされました



## コードレスPてれほん(PT-3)

- ▶ 1992年登場



## PてれほんE(PT-4 TEL)

- ▶ ピンクの他にグレーがラインナップされました
- ▶ Pてれほんシリーズ中唯一外部電源が不要です。



## PてれほんF(PT-51 TEL)

## PてれほんDCL

- ▶ 1997年10月発売開始 2003年01月販売終了
- ▶ 登場当時の販売価格は158,000円
- ▶ PHS互換のデジタルコードレス子機を2台まで接続可能。
- ▶ この機種から外付FAXの料金徴収機能等がついた。



## PてれほんS(グレー)

- ▶ 1997年10月24日発売開始 2004年03月販売終了
- ▶ 登場当時の販売価格は100,000円
- ▶ ピンクの他にグレーがラインナップされました



## PてれほんC

- ▶ 2004年02月27日発売開始 2009年10月販売終了
- ▶ 登場当時の販売価格は105,000円
- ▶ 色は白のみとなりました。



## PてれほんCII

- ▶ 2009年10月21日発売開始
- ▶ 登場当時の販売価格は110,000円(税抜)

色は変わらず白のみ



## 浪漫電話(KT4-FNシリーズ)

- ▶ 日本通信機器株式会社が販売したレトロ調電話
- ▶ 1999年04月発売開始

